

与曾兵衛銀杏 松本農園

能登町



約1,000本のイチョウは
石川県内でも最大規模！！



品 目	出荷時期	生産量 (年間)
銀杏 (藤九郎、久寿)	10月～4月	4 t

■農園の概要

- ・県内最大規模である4.2haの農場に、大粒の藤九郎をはじめ、味に定評のある久寿等、約1,000本のイチョウを栽培しています。
- ・昭和59年秋よりギンナンの栽植をはじめ、今年で30年になります。

■セールスポイント

- ・生産者が直接お届けする新鮮な銀杏です。
- ・イチョウは病害虫の発生が少ないため防除はおこなっていません。また除草は機械除草でおこなっており除草剤は使用していません。
- ・化学肥料は使わず、堆肥・鶏糞・米ぬか等を使用し、土づくりに努めています。
- ・完熟したものを二回比重選しています。殻をむいた後の歩留まりが高いと金沢市場でも好評です。
- ・生ものなので早めにお召し上がり下さい。

厳選素材

ギンナン

石川県能登町

落ち実を全て拾って収穫する
石川県能登町農園

秋の食卓に彩りと香りを添える高級食材はギンナン。石川県能登町11月上旬にかけて出荷の最盛期を迎える。能登町農園の細い山道を走り、イチョウの木が整然と並んだ樹影に誘われる。松本光雄さん(78)は同町、栗原住のギンナン畑だ。ういす色は今だけ「果肉をむいたばかりが香うまい」と松本さんが差し出しするのは、炭火で焼いた左粒のギンナン。割れた殻からういす色の粒が顔を出す。こんは緑色が濃いのも、今は収穫時期が遅くなる上、と黄くなるよ。一粒はだんごも、ういす色に白く、丸がかり、香かな香ばしさが鼻を通った。優しい苦みの奥に、あじが印象的だ。熟ったこのまま食べるのはもう

「赤土と有機肥料で、松本さんは計4粒で「藤九郎」と「久寿久色」の2品種を中心に約1000本を育てている。ギンナンは害虫に強く、台風などで果が折れが付き、品質には影響しないことだが、赤土内では農産物としてなじみが薄かった昭和50年代末に栽培に専らった。樹齢3年、樹8年と言われるように、樹は実がなるまでに時間がかかる。松本さんのギンナンも、7年目にはようやく粒が実った。「ギンナン作りにはイチョウの木だけじゃなく、土や肥料も大事だ。土は赤土で、松本さんは化学肥料を使わず、鶏糞、堆肥、米ぬか、葉糞などの有機肥料で、樹を焼いた灰を混ぜる。その結果、食感が良く、味深いギンナンになった。金沢市出羽町栗原からも、実は輸れてもちろん、と好評で、年間約3トン出荷する。松本さんは近年、栽培技術の習得や加工品の開発にも力を注いでおり、ギンナンの栽培を通じて、地域が元気になるのをうれしく、と期待を込める。

味深くもっちり

落ち実を全て、水洗いしたギンナンは白くしなやか、白く輝く滑らかなギンナンは、ういす色、塩ういす、塩ういす、塩ういす。

るまでに時間がかかる。松本さんのギンナンも、7年目にはようやく粒が実った。「ギンナン作りにはイチョウの木だけじゃなく、土や肥料も大事だ。土は赤土で、松本さんは化学肥料を使わず、鶏糞、堆肥、米ぬか、葉糞などの有機肥料で、樹を焼いた灰を混ぜる。その結果、食感が良く、味深いギンナンになった。金沢市出羽町栗原からも、実は輸れてもちろん、と好評で、年間約3トン出荷する。松本さんは近年、栽培技術の習得や加工品の開発にも力を注いでおり、ギンナンの栽培を通じて、地域が元気になるのをうれしく、と期待を込める。

◎産地直産
金沢市栗原

北 國 新 聞
H23.10.21

代表者 松本 光雄 (まつもと みつお)
 連絡先 〒927-0601 石川県鳳珠郡能登町恋路 14-3 TEL/FAX : 0768-72-0407